

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間 最終 )

音戸中学校区 校番 27 学校名 呉市立音戸小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期・短期の経営目標は、具体的で分かりやすいです。また、効果を見取る目安もはっきりしています。</li> <li>・目標が明確で、指標も分かりやすく設定されています。</li> <li>・主体的な学び、実践力を高める個を大切にした支援の充実は適切と思います。</li> </ul>
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知・徳・体の目標達成のための方策が具体的です。業務改善に取り組む方策の実現を図り、ぜひBからAにしてもらいたいです。</li> <li>・考える授業というのはとてもよい授業と考えます。自分の考えを言葉にして表現することは積極性が育つと思いました。</li> <li>・方策は適切と思います。</li> </ul>
自己評価の結果と分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての項目に渡り(業務改善以外)、達成値や達成度が目標値を上回り、取組の成果が伺えます。分析も的確です。</li> <li>・学校側の頑張りを感しました。</li> <li>・確かな学力、豊かな心、健やかな心身等の取組内容と現状の数字を確認することができました。分かりやすかったです。</li> </ul>
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曜日の少人数指導は大変有難いです。</li> <li>・自己管理ができる項目とそうでない項目に分け、事例の振り返りとその改善に向けた取組を図ってください。</li> <li>・改善策の全てが実現できれば素晴らしいと思います。ぜひとも実現できるように期待しています。</li> <li>・先生方の感性と努力に感謝しています。よい改善策であると思います。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達はよく挨拶してくれます。心身ともに健やかに育ってくださいと願います。</li> <li>・PTAとして家庭内でできること(SNS利用など)も保護者に周知していきたいです。</li> <li>・児童と向き合う時間の確保のため、PTAとしてできることをしていきたいです。</li> <li>・児童と向き合う時間の確保に努めてください。</li> <li>・会議時間の短縮は大切ですが、教職員案の意見交換やコミュニケーションは大いに必要だと考えます。</li> <li>・12月7日の地域住民との交流「お正月遊び会」はぜひ成功させてほしいです。ボランティアグループは朝市のため参加できませんが老人クラブの協力は得られると思います。せいろ等の道具の一式はあるので活用してほしいです。</li> </ul>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>本校の取組について、目標、指標、方策、結果と分析、改善策等が適切であると評価をいただいた。学校関係者評価委員会でお出されたご意見を再度確認し、最終に向けて取組を進めていきたい。</p> <p>○組織的・計画的に、放課後等の少人数指導や基礎基本タイムを継続する。児童の主体性の育成を目指し、課題解決に取り組む授業づくりを教職員全員で考え実践していく。教科書「言葉の力」を基にしたスピーチ学習や授業での表現する場を大切にする。特別支援教育の視点をもった授業「時間の構造化」「学習形態の工夫」を全学級で行う。</p> <p>○挨拶の大切さを実感させ、自分から進んで挨拶できる児童を育成する。学級・学校をよりよくするために、自分たちでできることを考え、実行する機会を増やしていく。「親切さんありがとう」の活動を工夫し、自分・友達の頑張りがよさを認め合える風土を育成する。地域学習では直接体験を重視し、地域の人・もの・ことへの愛着を深めていく。</p> <p>○情報モラルを実態に即した様々な方法で継続し、保護者啓発も行う。くれチャレンジマッチスタジアムに積極的に取り組むとともに、外遊びを奨励する取組や体育科の授業等で体を動かす楽しさを経験させることで体力の向上を目指す。引き続き、地域と協働し、他教科とも関連させた防災教育を実施する。</p> <p>○企画委員会で、定期的に教育活動や時程等を見直すことで、児童と向き合う時間を確保する。特に、効果的であった取組の継続、会議等の時間設定、授業外でのICT活用、業務の分担、見直しをもたせる取組・行事の精選・簡略化を実施し、見直しや改善を繰り返していく。</p>
--------------------	--